



平成 30 年 2 月 吉日

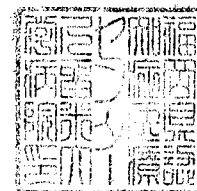
小郡三井医師会

会長 白石 恒明 殿

久留米医師会

久留米認知症ネットワーク研究会

福岡県認知症医療センター



研修会のご案内

拝啓

迎春の候、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。現在、久留米医師会主催で久留米認知症ネットワーク研究会、福岡県認知症医療センター久留米大学病院の共催のもと、認知症に関する研修会等企画し地域連携に取り組んでいます。その活動の一つとして『各科専門医のための事例を通した認知症診療のコツ』～認知症になっても安全に、安心して暮らせるやさしいまちを目指して～というテーマで、かかりつけ医の先生方向けの研修会を開催致します。今回の研修会では、軽度・中等度・重度と認知症の状態ごとの対応について事例を交えた研修会を予定しております。認知症の早期発見及び初期対応に関しては、地域の先生方の「気づき」と「他職種協同による連携」などが大変重要となっております。先生方におかれましては大変ご多忙かと存じますが、各会員の先生方にご案内頂き、お誘い合わせの上、お越し頂けたら幸いです。ご協力の程宜しく願いいたします。

敬具

記

【送付書類】

・研修会案内状

以上

<お問い合わせ>

久留米認知症ネットワーク研究会 事務局
高次脳疾患研究所 小路 純央
福岡県認知症医療センター 久留米大学病院
久留米大学病院医療連携センター 轟久 裕貴
TEL: 0942-31-7903 (医療連携センター直通)

『各科専門医のための事例を通した認知症診療のコツ』 ～認知症になっても安全に、安心して暮らせるやさしいまちを目指して～

日時：平成30年2月6日（火）午後7時00分～午後8時30分
場所：久留米医師会館 大ホール

かかりつけ医認知症対応力向上フォローアップ研修事業

1. 開会挨拶 久留米医師会 会長 北里 誠也

2. 講演会

19時00分～20時30分

座長：久留米内科医会 会長 いのくち医院 院長 猪口 哲彰 先生

久留米大学病院 高次脳疾患研究所/久留米大学医学部神経精神医学講座
准教授 小路 純央 先生

事例1：『認知症軽度への気づきと対応(仮)』

演 者：薬師寺内科医院 院長 薬師寺 和昭 先生

趣旨)認知症の定義からも、記憶障害や注意・遂行機能などの認知機能の低下を認め、手段的ADL(服薬管理など)の低下から認知症への気づきについて

事例2：『基本的ADLに介護が必要になった(中等度)認知症患者への対応(仮)』

演 者：聖ルチア病院 精神保健福祉士 森川 愛子 氏

趣旨)中等度認知症患者の場合、特に独居や老々状態の際には、医院への受診もしばしば難しい時もあり、ケアの立場からみた、医療・介護の介入について

事例3：『BPSDが生じた際の認知症患者への対応(仮)』

演 者：久留米大学医療センター

精神科・もの忘れセンター診療科長 山田 英孝 先生

趣旨)かかりつけ医のためのBPSDに対応する向精神薬使用ガイドライン(第2版)にもあるように、BPSD症状への対応について学ぶ。

今回は精神科医の立場からどのような点について気を付けていただくべきか？

3. 閉会挨拶

久留米医師会 理事 中尾 一久

日医生涯教育講座1.5単位
CC 4.15.29 取得可能



共催：久留米医師会 久留米認知症ネットワーク研究会
福岡県認知症医療センター久留米大学病院
後援：久留米市

